

科目番号	52135	分類	地域母子保健学	履修者	高度実践助産コース	学年	1-2 配当セスター 通年		
科目名	災害助産活動論 (Disaster Midwifery Activities)								
担当者	〇戸津有美子 他2名		区分	助産師プログラム	選択	単位	1	時間数	15
授業の概要および目標						学位授与の方針との関連			
【概要】 自然災害、人為的災害、混合型災害と、近年、増加する災害に対する定義、管理、防災体制など基礎的知識を学習し、さらには、具体的な助産師の活動および支援策を知る。 【目標】 1. 災害および災害医療の定義や法律、体制、管理について説明できる。 2. 災害時における助産師の役割を説明できる。 3. 災害時における妊産褥婦への支援について説明できる。 4. 災害時の分娩対応について実践できる。 5. 地域での母子支援活動と助産ケアと復興支援について説明できる。						〇	1. 自律して自然分娩の支援ができる能力		
							2. 院内・院外助産システムを担うことができる能力		
							3. 女性の生涯にわたる健康を支援できる能力		
						〇	4. 周産期の救急時に対応できる能力		
						〇	5. 他職種と連携・協働し、質の高い助産ケアを提供できる能力		
							6. 研究・開発能力		
						〇	7. 倫理的意思決定能力		
授 業 計 画									
回	内 容						担当教員		
第1回	科目のガイダンス 災害助産活動論の概要 災害および災害医療の定義および法律						戸津 他2名		
第2回	災害時の助産師活動（国内における活動）								
第3回	災害時の助産師活動（海外における活動）								
第4回	災害時の助産師活動（災害対策と防災について）								
第5回	災害時の母子支援①妊産褥婦への支援								
第6回	災害時の母子支援②分娩の対応 ③復興支援								
第7回	災害時の母子保健対策・栄養・子どものケア、減災ドリル								
第8回	総合講義、災害時の母子支援活動と地域における助産師の役割								
事前・事後学習	事前学習：各回の必携および参考図書で該当する部分を読んでおくこと。 事後学習：配布資料を復習する。レポートを課す。 事前事後学習には30～60分程度で出来る課題を課す。								
評価の方法	レポート（70%）、授業・討論への参加状況（30%）にて総合的に評価する。								
参考図書・資料等	◎助産学講座9 地域母子保健・国際母子保健 第6版 我部山キヨ子他 医学書院 ○新版 助産師業務要覧 第4版 [Ⅲアドバンス編]、福井トシ子 日本看護協会出版会 参考図書は適宜紹介する。 ◎は授業の必携図書のため購入を必要とする。								
備考	オフィスアワーについては、学生便覧を参照し、教員と日程調整をする。 フィードバックは適宜行う。								